

【治山事業（県事業） 事後評価審議資料】

○事後評価実施箇所一覧表	・・・p. 1
○事後評価箇所表	・・・p. 3
○説明資料（パワーポイント）	
③ 地域防災対策総合治山事業 「池田山地区」	・・・p. 5



令和5年度 事後評価実施箇所一覧表 2月5日審議箇所

番号	担当職名	果 事 業		事業採択年度	完了年度	全体事業費 (百万円) 上段：当初 下段：最終	事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所 (市町村名)	対応方針(案)		
		補助・ 交付金	県単							今後の事後評価の 必要性	改善措置の必要性	新規事業へ通用すべき留意点
1	森林保全課	○		H19	H29	450 ----- 921	地域防災対策総合治山事業	池田山	池田町	今の段階では必要なし	今の段階では必要なし	森林の防災力を高めていくため、森林整備と治山施設を組み合わせた対策を検討する 現場の状況に応じた継続的な対策を検討する



# 令和 5 年度事後評価箇所表

担当課〔 森林保全課 〕

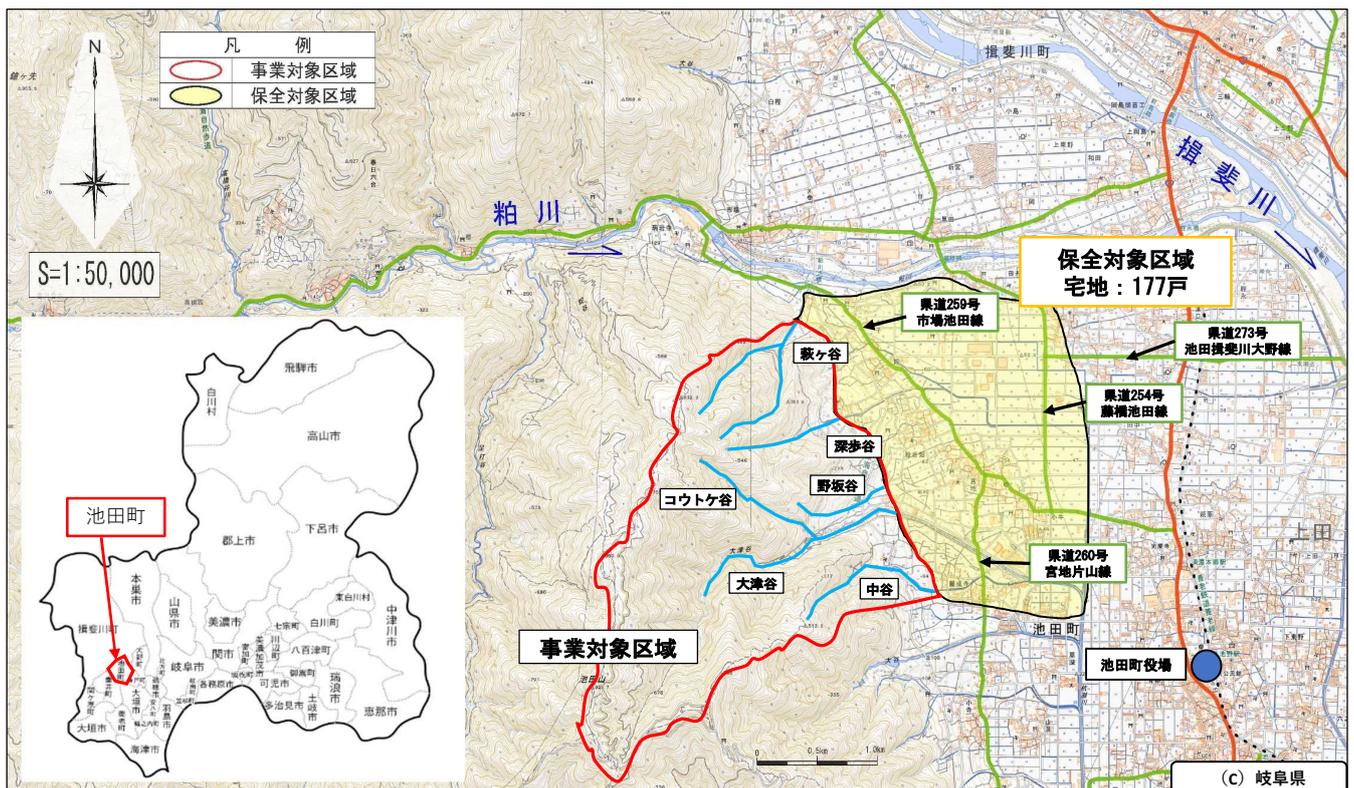
番 号	3	事業名 (路線・河川名等)	地域防災対策総合治山事業 池田山地区
事業実施箇所	揖斐郡池田町宮地池田山地内		全体事業費 (当初450百万円) 921百万円
採択年度	平成19年度	完了年度	平成29年度
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね5年経過したもの		
事業目的	<p>当地区は、池田町役場の北西部に位置し、標高924mを有する池田山の一部であり、下流には、人家、県道等の保全対象が多数存在している場所である。</p> <p>溪流内に堆積した不安定土砂の流出抑制や、崩壊地の復旧による森林保全を目的とし、平成19年度から地域防災対策総合治山事業を実施した。</p>		
事業概要	<p>溪間工 1. 5ha 治山ダム32基 (流路工3箇所)</p> <p>山腹工 1. 7ha 7箇所</p>		
概要図			

評価結果	
① 住民参加・協働による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の治山対策への理解を深めるため、町と連携して住民説明会を開催した。</li> <li>・災害を通じて子ども達が郷土への理解を深めるため、治山ダムの見学会を開催した。</li> </ul>
② 事業の効果	<p>【治山ダムの設置効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治山ダムの設置により縦横侵食を防止、溪床勾配の緩和による土砂流出を抑制した。</li> <li>・施設の破損もなく、消失した林床植生も草本類の侵入により徐々に回復した。</li> </ul> <p>【山腹工の実施効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山腹工の実施により表面侵食を防止、植栽木に良好な生育環境を造成した</li> <li>・施設の破損もなく、消失した林床植生も草本類の侵入により徐々に回復した</li> </ul> <p>【費用対効果の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「林野公共事業における事業評価マニュアル」に基づき、便益として災害防止と水源涵養を算出し、投資的効果率は5.2となった。</li> </ul>
③ 環境面への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山腹工により植生が回復し、生物多様性の保全に寄与した</li> <li>・間伐材を使用した丸太筋工により、木材利用を促進した。</li> </ul>
④ 事業を巡る社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下流域の保全により安全・安心な工場誘致に貢献した</li> <li>・町特産品「美濃いび茶」の茶畑保全、「大津谷公園キャンプ場」の安全性向上した</li> </ul>
⑤ 利用者・地域住民等への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象としたアンケート結果から、「土砂流出の抑制効果」を実感している回答者は76%、「濁水緩和効果」を実感している回答者は73%となり、回答者の約7割が効果を実感していた。</li> </ul>
⑥ 対応方針（案）	<p>【今後の事業評価の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業完了後から山地災害は発生しておらず、費用対効果が5.2で投資効果も発現していることから、今の段階では必要なし。</li> </ul> <p>【改善措置の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査により回答者の約7割が満足していることや、整備された施設により、土砂流出の抑制効果が発揮されていることから、今の段階では必要なし。</li> </ul> <p>【新規事業へ適用すべき留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の防災力を高めていくため、森林整備と治山施設を組み合わせた対策を検討する</li> <li>・現場の状況に応じた継続的な対策を検討する</li> </ul>

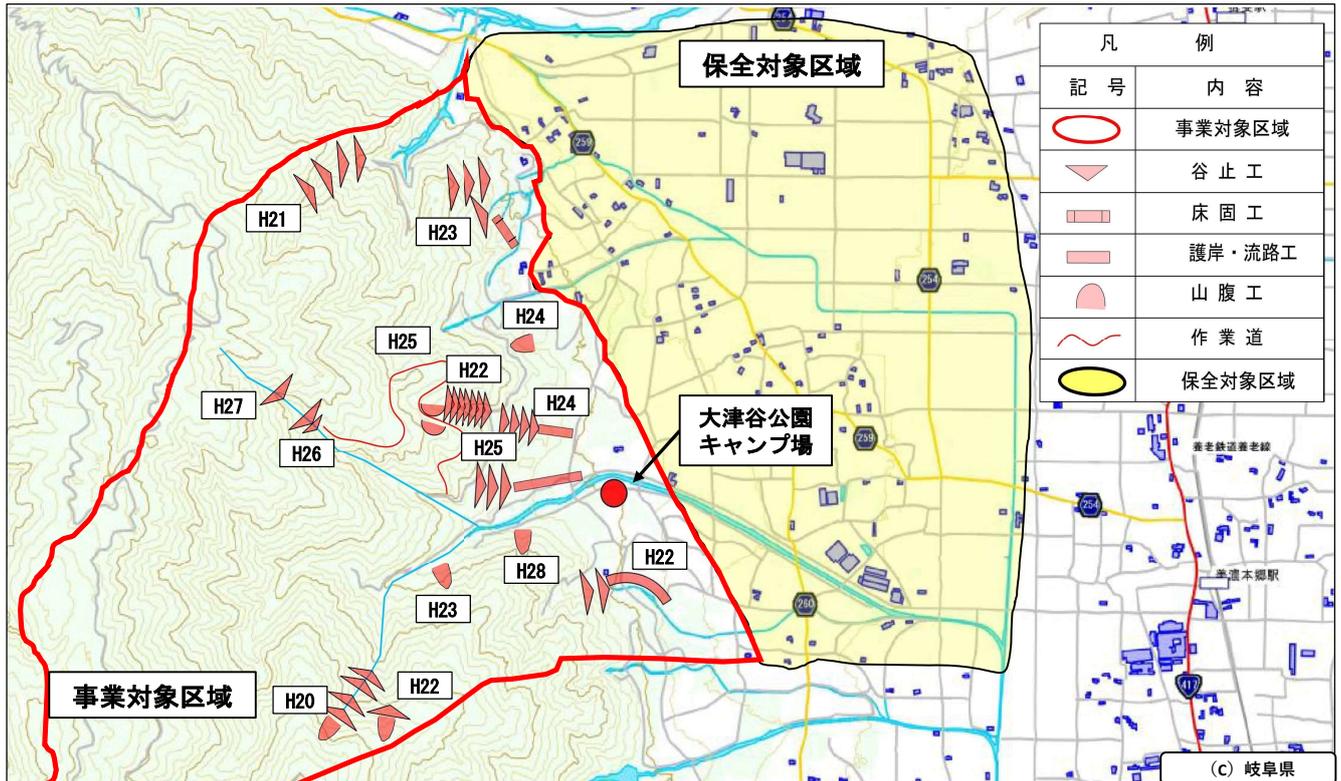
# 事後評価 地域防災対策総合治山事業 池田山地区



## 1 位置図



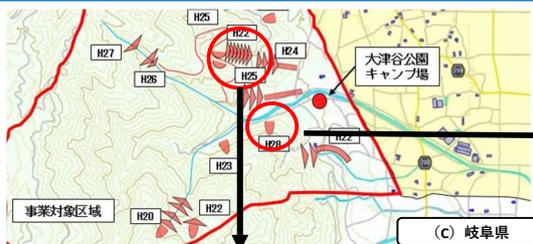
## 2 事業区域図



2

## 3 事業概要

- 実施場所：揖斐郡池田町宮地 池田山地区
- 実施期間：平成19年度～平成29年度
- 総事業費：9億2千万円
- 事業内容：溪間工 1.5ha 治山ダム32基（流路工3箇所）  
山腹工 1.7ha 7箇所
- 事業目的：溪流内に堆積した不安定土砂の流出抑制や崩壊地の復旧による3.2haの森林の保全



3

## 4 住民の参加・協働による効果

- 地域住民の治山対策への理解を深めるため、町と連携して住民説明会を開催
- 子ども達が災害等を通じて郷土への理解を深めるため、治山ダムの見学会を開催



場 所：池田町役場  
 実施日：平成19年3月  
 対象者：地元区長6人  
 説明者：県揖斐農林事務所・池田町役場

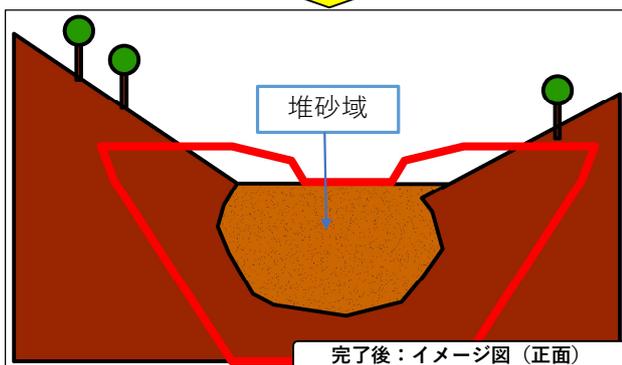
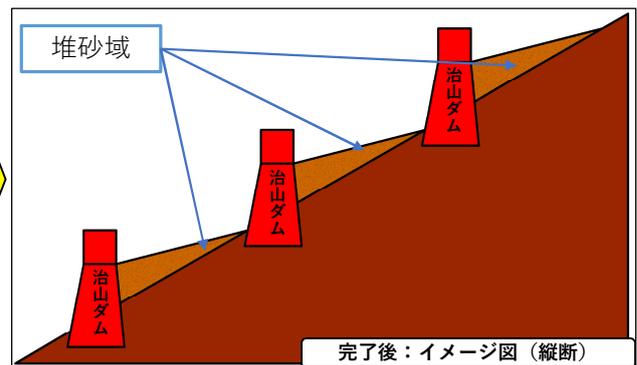
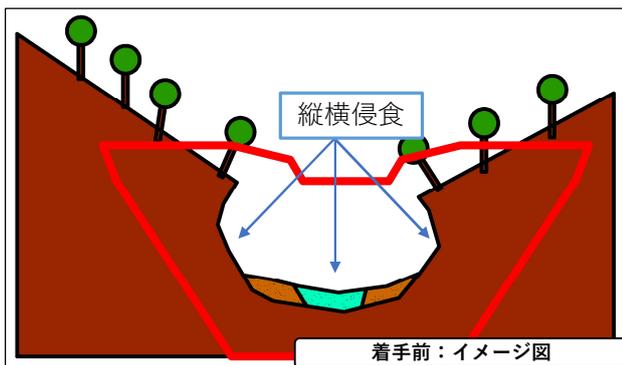


場 所：池田山地内(コウトケ谷・野坂谷)  
 実施日：平成27年7月・平成28年7月  
 対象者：宮地小学校児童  
 説明者：県揖斐農林事務所・工事受注業者

4

## 5 事業の効果①（治山ダムの設置効果）

- 治山ダムの設置により縦横侵食を防止、溪床勾配の緩和による土砂流出を抑制
- 施設の破損もなく、消失した林床植生も草本類の侵入により徐々に回復



5

## 6 事業の効果② (山腹工の実施効果)

- 山腹工の実施により表面侵食を防止、植栽木に良好な生育環境を造成
- 施設の破損もなく、消失した林床植生も草本類の侵入により徐々に回復



6

## 7 事業の効果③ (費用対効果の分析)

### ◆評価対象の便益

#### ・災害防止便益

山腹崩壊、土石流の災害発生による被害を防ぐ効果

97%

#### ・水源涵養便益

洪水防止・水質浄化・流域貯水の効果

3%

### ◆投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 B}}{\text{総費用 C}} = 5.2$$

$$\left[ \begin{array}{l} \text{当初計画時 H19} \\ \text{B/C} = 8.9 \end{array} \right]$$

H20西濃豪雨等により荒廃が拡大。  
治山ダム・山腹工の実施箇所が増となったことによる変動

※林野公共事業における事業評価マニュアル (R5,4) に基づき算出

## 8 環境面への配慮

- 山腹工により植生が回復し、生物多様性の保全に寄与
- 間伐材を使用した丸太筋工により、木材利用を促進



H23年8月：完了後（山腹工）



R5年8月：現在（山腹工）



H25年4月：施工状況（丸太筋工）

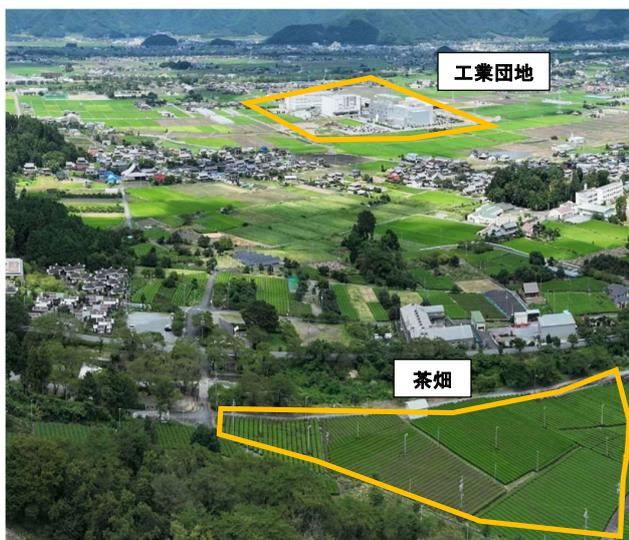


H25年6月：完了後（丸太筋工）

8

## 9 事業を巡る社会経済状況の変化

- 下流域の保全により安全・安心な工場誘致に貢献
- 町特産品「美濃いび茶」の茶畑保全、「大津谷公園キャンプ場」の安全性向上



工業団地

茶畑



池田山地区

大津谷公園  
キャンプ場

【平成19年以降に進出した工業施設】  
施設数：3企業5工場  
【保全された茶畑の面積】  
茶畑：約50ha

【大津谷公園キャンプ場利用者（R4年度）】  
宿泊：3,302人（R3より1,141人増）  
日帰：1,815人（R3より730人増）

9

## 1 0 地域住民等への効果①（アンケート調査結果）

### アンケート調査結果

**土砂流出の抑制効果**を実感している回答者は全体の**約76%**  
**濁水緩和効果**を実感している回答者は全体の**約73%**

#### 【土砂流出抑制に対する満足度】



#### 【濁水緩和に対する満足度】



- 調査方法  
地域住民へは地元自治会長（6地区）がアンケートを配布【実施時期：令和5年8月】
- 調査結果  
配布数：467 回収：281 回収率 60%

1 0

## 1 1 地域住民等への効果②（アンケート調査結果）

### 地域住民からの意見

#### 満足の意見

事業完了後から山地災害が発生していないので、非常に感謝している



#### 不満足の意見

治山ダムだけでなく、森林の整備も必要ではないか？



集中豪雨が多発しているため、山地災害がいつ発生するか不安である。引き続き治山事業をお願いしたい



- ・ 森林整備と治山施設を組み合わせた対策を検討
- ・ 現場の状況に応じて継続的な対策を検討

1 1

## 1 2 対応方針（案）

---

### □ 今後の事業評価の必要性

- 事業完了後から山地災害は発生していない。
- 費用対効果が5. 2で投資効果が発現できている。



今の段階では、今後の事業評価は必要なし

### □ 改善措置の必要性

- アンケート調査により、回答者の約7割が満足している。
- 整備された施設により、土砂流出の抑制効果が発揮されている。



今の段階では、改善措置の必要なし

### □ 新規事業へ適用すべき留意点

- 森林の防災力を高めるため森林整備と治山施設を組み合わせた対策を検討
- 現場の状況に応じて継続的な対策を検討